

試合番号 : 184	試合会場 : 紫波町総合体育館	観客数 : 900	
開始時間 : 14:01	終了時間 : 15:43	試合時間 : 01:42	
主審 : 桑原 健輔	副審 : 早坂 行博		
東レアローズ	通算 12勝 6敗 ポイント : 34	ウルフドッグス名古屋	通算 14勝 4敗 ポイント : 40
監督コメント	3	0	監督コメント
<p>ウルフドッグス名古屋に2連勝することは出来ましたが、フルメンバーではない相手チームの高いポテンシャルを感じました。来週から後半戦に入り、よりコンディション作りが大事になってくると思いますので、しっかりと準備していきたいと思っております。2日間、たくさんの応援ありがとうございました。</p> <p>昨日の厳しい試合からの反省を活かして選手たちがプレーしようとしてくれたことを大変嬉しく思います。自分たちのリズムでプレーすること、この試合において一つの重要なポイントでした。お互いの気迫溢れるプレーと準備してくれたファンの皆様熱気での寒さを忘れさせるほど熱中できた試合となりました。我々ウルフドッグス名古屋のファンが遠路駆けつけてくださったことに心から感謝と敬意を表したいと思います。また、ここ紫波町近隣の皆様にWD名古屋を知って頂けたことを嬉しく思います。我々のホームアリーナである豊田合成記念体育館"エントリオ"でファンの皆様にお会いできることを心待ちにしております。</p>			
<p>ホームで連続勝利を飾りたい東レアローズと、連敗を止めたいウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット、終盤まで競り合う試合展開。東レは小澤が要所でスパイク、サービスエースを決め、リズムを作り出しセットを先取した。第2セット、互いに譲らず中盤まで競り合う。WD名古屋は高梨にボールを集め得点を重ねる。19-16からWD名古屋は5連続得点するも東レ小澤のスパイク・サービスエースと連続得点しセットを連取した。第3セット、3-7とWD名古屋・山崎を中心とした攻撃で走り出す。東レも要所で得点を重ね、終盤まで競った試合展開となる。最後は東レ・パダルの強烈なスパイクで得点し、このセットも粘り勝ち昨日に引き続き勝利した。</p>			

試合番号 : 185	試合会場 : 墨田区総合体育館	観客数 : 1,369	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:08	試合時間 : 02:08	
主審 : 正岡 卓	副審 : 村中 伸		
東京グレートベアーズ	通算 4勝 12敗 ポイント : 11	堺ブレイザーズ	通算 13勝 5敗 ポイント : 40
監督コメント	1	3	監督コメント
<p>第3セットまではゲームを作ることができたが、堺ブレイザーズの手堅いラリーボールに対して、徐々に流れを維持することができなくなっていました。ハイレベルな試合展開に耐え、そして乗り越えられるように来週以降もチャレンジをしていきたいと思っております。2日間応援ありがとうございました。</p> <p>今日の試合は相手の強いサーブと徹底した対策、そして相手のホームゲームの雰囲気になかなか自分たちのリズムを作りきれない展開が続いていました。そんな中でも、守備の良い東京グレートベアーズを相手に粘り負けなかったことが1番の勝因だと思います。また、交代して入った選手たちが本心に素晴らしい活躍を見せてくれ、チーム一丸となって勝利を掴むことが出来ました。リーグ前半戦の最後を勝利することが出来、後半に繋がる試合となりました。アウェイの中、ブレイザーズに声援を送ってくれたサポーターに感謝します。応援ありがとうございました。</p>			
<p>第1セット、東京グレートベアーズはアラウージョのサービスエース、張の攻撃で点を重ねる。対する堺ブレイザーズは樋口、迫田の好レシーブから攻撃に繋げ、序盤は一進一退の攻防となる中、東京GBは張、アラウージョの連続ブロックで堺の攻撃陣にプレッシャーを与え、試合を優位に進める。中盤、堺は山本を中心に粘り強く扱い、迫田や出東田がアタックを決めて点差を縮め、終盤に迫りつ。迫田のアタックによる連続得点で勢いに乗る堺は松本のアタックが決まり、セットを先取る。第2セット、両チームの見応えあるラリーで観客を沸かせる中、東京GBはアラウージョの攻撃とブロック、玉宅のサービスエースなどで序盤から点差を広げる。対する堺は、鶴野を投入し流れを変えようと試みる。東京GBは古賀や野瀬の安定したレシーブから攻撃陣がアタックを決め、試合の主導権を握ることなく、最後は笠利がアタックを決め、東京GBがセットを取り返す。第3セット、東京GBは笠利、堺は山本の好レシーブが会場のファンを盛り上げ、序盤から一進一退の攻防が続く。中盤以降も両チーム譲らぬ展開の中、パノニックのアタック、深津のサービスエース、迫田のブロックの3連続得点で勢いづいた堺がこのセットを取る。第4セット、序盤は堺が竹元、出東田のミドルブロッカー陣が活躍し、試合を優位に進める。対する東京GBは、笠利の緩急をつけたアタック、アラウージョの豪快なアタックなどで追いつける。なんとかフルセットに持ち込みたい東京GBは戸等、長友を投入するが、逆に鶴野のアタックや竹元のブロックなどで堺に点差を広げられる。そのまま、東京GBはリズムを取り戻すことが出来ず、最後は迫田がアタックを決め、堺がこのセットも連取し、勝利した。</p>			

試合番号 : 186	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 1,618	
開始時間 : 15:05	終了時間 : 17:20	試合時間 : 02:15	
主審 : 城 智人	副審 : 浅井 唯由		
サントリーサンパーズ	通算 13勝 5敗 ポイント : 34	パナソニックパンサーズ	通算 10勝 8敗 ポイント : 33
監督コメント	3	2	監督コメント
<p>本日もサンパーズへの多大なご声援有難うございました。前半戦の締めくくりとして昨シーズン1勝もできなかったパナソニックに2連勝することができたことは、本当に価値があると思います。今日の試合でもお互いにペースをゆずらないタフなゲームでしたが、パナソニックの粘り、勝利への執念は素晴らしいと思います。我々の課題としてはサーブの精度があげられます。今日はそれを補えるくらい、ブロックとディフェンスは機能していたと思います。様々な課題を真摯に受け止め、"PLAY HARD"の精神で乗り越えていきたいと思っております。2日間ホームでのご準備、ご協力、たくさんのご声援、みなさま本当に有難うございました。引き続き応援宜しくお願いいたします。</p> <p>昨日フルセットの激闘を繰り広げた両チームの対戦。第1セット、中盤まで一進一退の展開で進むなか、パナソニックパンサーズ山内のブロックが決まり頭一つ抜け出すと、クビアクの攻守にわたる活躍などでリードを保ち、最後は深津のブロックで接戦を制した。第2セット、序盤からサントリーサンパーズがムセルスキーの安定した攻撃力でリードを得ると、佐藤のブロックなどで勢いを衰えさせることなくこのセットを奪い返した。第3セット、サントリーサンパーズは桑の活躍でペースを握りリードを広げ、途中パナソニック山内の連続ブロックなどで点差を詰められるも、最後はムセルスキーのスパイクがパナソニックの守備を崩し、このセットに勝利した。続く第4セット、中盤から大塚のサーブやクビアクのブロックが効果を発揮しリードを広げると、清水のアタックが終盤に炸裂しセットカウントをタイに持ち込み、連日にわたりフルセットの戦いに持ち込んだ。迎えた最終セット、序盤からムセルスキーが高い打点からのアタックを次々に決め、最後までパナソニックに主導権を与えることなくセットを奪い、2日連続でフルセットの激闘を制し連勝した。</p>			

試合番号 : 187	試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公園第1体育館)	観客数 : 1,883	
開始時間 : 13:05	終了時間 : 15:00	試合時間 : 01:55	
主審 : 岡田 崇	副審 : 中山 健		
ジェイテクトSTINGS	通算 10勝 8敗 ポイント : 33	JTサンダーズ広島	通算 8勝 10敗 ポイント : 26
監督コメント	3	0	監督コメント
<p>まずは粘り強いプレーを見せたJT広島さんを讃えたいと思います。今日の勝利は選手たちが全力でプレーしてくれた結果だと思います。いつも多くの声援ありがとうございます。引き続きよろしくお願い致します。</p> <p>第3セットの内容は両チームともに特に良く、非常にレベルの高い試合でした。惜しくも敗れたものの、次に繋がる試合でした。継続してレベルアップできるよう、取り組む必要があります。ファンの皆様、ご声援ありがとうございます。</p>			
<p>ホームゲームでの連勝を狙うジェイテクトSTINGSとJTサンダーズ広島の一戦。第1セット、序盤から両チームの取り合いが続く。終盤にジェイテクトはウルナウトのサーブからJT広島のリシーブを乱し一歩リードする。JT広島は小野寺、江の攻撃で追いつけるも、ジェイテクトが村山、西田の連続ブロックポイントで突き放し、セットを先取した。第2セット、ジェイテクトは序盤から柳田、西田が得点を重ねてリードを広げ、流れを引き寄せた。粘りをみせたいJT広島は江のアタックで応戦するも、攻守でリズムを掴んだジェイテクトが一気に押し切りセットを連取した。第3セット、後がなくなったJT広島はラッセルのブロックや江のアタックでリードする。ジェイテクトは福山の連攻や西田の強弱をつけたアタックで追いつける展開。JT広島は江のアタックで先にセットポイントを取るも、ジェイテクトが西田のアタックでデュースに持ち込む。両チームとも勝利に向け一歩も譲らずデュースが続くが、最後はジェイテクトがウルナウト、柳田の連続ポイントでホームでの連勝を飾った。</p>			

試合番号 : 188		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 940	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:11		試合時間 : 02:11		主審 : 林淳一	
副審 : 富田博一		通算		3勝 13敗		通算	
大分三好ヴァイセアドラー		ポイント : 9		30 第1セット 28		VC長野トライデント	
<p>3</p> <p>監督コメント</p> <p>本日も大分市民応援DAYということで、たくさんの大分市民の方にお越しいただきありがとうございました。チームとして2連勝をすることができ、非常に嬉しいです。第1セットからブロックを中心に得点を重ねることが出来ました。第3セットは苦しいピッチの場面もありましたが、途中出場の藤原、川口を中心に切り切れたのが勝利に繋がったと思います。チームの目標であるベスト6に向けて次節からも戦っていきます。たくさんの方の応援ありがとうございます。</p>		<p>1</p> <p>監督コメント</p> <p>得点チャンスを取り切れない弱い部分が目立った試合になった。大分三好さんはチャンスをしっかり取り切れていた所が勝敗につながった。リーグも半分が終了、課題がしっかり見えているので、後半戦に向けてしっかりと克服していきたい。厳しい戦いが続く中毎試合たくさんのご声援を頂き、本当にありがとうございます。応援して頂いている皆さんと笑顔になれる様、しっかりと一戦一戦全力で戦っていきます。来週もよろしくお願います。</p>		27 第2セット 29		1勝 17敗	
				25 第3セット 22		ポイント : 4	
				25 第4セット 19			
				第5セット			
				要約レポート		<p>ホームで連勝し大分市民の応援に応えたい大分三好ヴァイセアドラーと連敗を避けたいVC長野トライデントの大分大会第2戦。第1セット、大分三好はモゲニ、VC長野はドニ、池田(幸)を中心とした攻撃で終盤まで続ける試合展開となった。最後はVC長野ドニのスパイクがサイドラインを割り、30-28で大分三好がセットを先取したが、このセット試合を印象づけたのはエース3本と絶好調な大分三好モゲニの強烈なサーブであった。第2セットも第1セット同様終盤まで続ける点の取り合いとなった。VC長野は失責のセンターからの攻撃、池田(幸)のレフト、バックからの攻撃、対する大分三好は小野、カンタバット、モゲニを中心とした攻撃で応戦する。しかし最後は第1セットとは逆に大分三好モゲニのレフトからのアタックがラインを割り、29-27でVC長野がセットを奪い返した。第3セット、こちらも序盤より両チーム共に点の取り合いになった。中盤、大分三好はセッター井口の緩急のあるサーブで同点に追いつくと、川口のセンターからの攻撃で逆転に成功。最後はカンタバットのセンターからのバックアタックで勝負あり、大分三好が再度セットを取り返した。第4セット、序盤は一進一退の試合展開となった。中盤以降、一歩抜け出したのはセッター井口の的を絞らせないトスワークで攻撃陣を自在に操った大分三好だった。最後はVC長野のアタックがネットにかり、ジ・エンド。大分三好はホームゲームで嬉しい2連勝を飾り、来週末予定のVレギュラーラウンド前半戦最後の試合に向け、弾みをつけた。</p>	

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
監督コメント		ポイント :		第1セット		-勝 -敗	
要約レポート				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
監督コメント		ポイント :		第1セット		-勝 -敗	
要約レポート				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		-勝 -敗		通算	
監督コメント		ポイント :		第1セット		-勝 -敗	
要約レポート				第2セット		ポイント :	
				第3セット			
				第4セット			
				第5セット			